

鬼怒川のダムでは洪水シーズンの管理が始まりました 《五十里ダム・川俣ダム・湯西川ダムは満水です》

鬼怒川上流の3ダム(いずれも栃木県日光市)では本日6月15日から台風等大雨に備えて洪水を貯める容量を空けておく管理を開始しました。

現在ダムの貯水状況は、関東地方の梅雨入りの遅れもあって、ダムから多くの放流を行っているものの、3ダムとも洪水シーズンの貯水位で満水となっており「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催に伴い水需要に変化が生じた場合でも、対応できるように態勢を整えています。

鬼怒川のダムでは、今後もきめ細やかなダム操作により洪水及び用水供給に対応してまいります。



五十里ダム



夏期制限水位 標高 578.00m
(利水のための最高貯水位＝満水位)

6月15日0時貯水位 標高 579.03m (+1.03m)※

※ 五十里ダムでは、洪水対応に支障が生じない範囲で、洪水を貯める容量の一部を平常時のために有効活用する「弾力的管理試験」を実施中で、標高579.27mを最高貯水位とした運用を行っています。このため、本日の貯水位は、夏期制限水位以上の標高にあります。

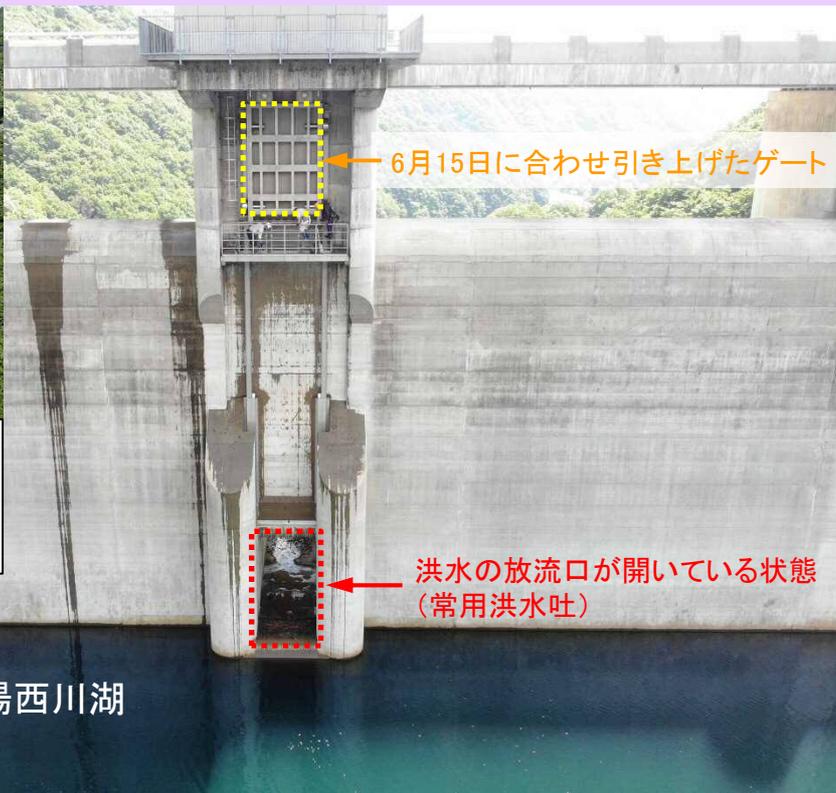
湯西川ダム



常用洪水吐

令和3年6月15日撮影

夏期制限水位 標高 666.50m
(利水のための最高貯水位=満水位)
6月15日0時貯水位 標高 666.04m



6月15日に合わせ引き上げたゲート

洪水の放流口が開いている状態
(常用洪水吐)

湯西川湖

令和3年6月15日撮影

川俣ダム



夏期制限水位 標高 967.50m
(利水のための最高貯水位=満水位)
6月15日0時貯水位 標高 969.83m (+2.33m)※



川俣湖

令和3年6月15日撮影

※ 川俣ダムでは、洪水対応に支障が生じない範囲で、洪水を貯める容量の一部を平常時のために有効活用する「弾力的管理試験」を実施中で、標高969.89mを最高貯水位とした運用を行っています。このため、本日の貯水位は、夏期制限水位以上の標高にあります。

川治ダム

7月1日から洪水シーズンの管理を開始します。

川治ダムにおいても「弾力的管理試験」を実施する予定であり、標高596.52mを最高貯水位とした運用を行います。(6月15日0時貯水位 標高600.87m)